

新税に新料金 に新型車両導入 市の“最新”の 動向お届けします



特集 1月議会＆新税＆
政活費見直し

経営難の市バス・地下鉄は運賃値上げ？
烏丸線は新型車両が今春デビューへ

すがや浩平
京都市議会議員事務所

市政に関するご意見・ご要望をお待ちしております。

☐ 日本維新の会への入党を希望する。 ☐ 選挙(立候補)に興味がある。 ☐ ポスター掲示を許可する。

お名前	フリガナ	ご連絡先	() -
ご住所	〒		

※ ご記入いただいた個人情報は、ご連絡以外の目的では使用いたしません。

FAX	1 上記に記入し、キリトリ線で切る	2 右記番号までFAXする	3 後日ご連絡させていただきます	Fax 075-493-6564
Email	1 QRコードを読み取るかメールアドレスを入力する	2 項目を記入し、送信する	3 後日ご返信させていただきます	Email sugayakohei0919@yahoo.co.jp

※ 上記の枠内にご記入のうえ、写真に撮ったものをメールに添付し送信いただいても大丈夫です。

日本維新の会

党員・候補者募集

日本維新の会では、党の綱領にご賛同いただき入党くださる方と立候補者を募集しています。入党には年額2千円の党費と審査が、立候補には公募申請がそれぞれ必要となります。詳しくは「京都維新の会」ウェブサイトにてご確認ください。 <http://kyoto-ishin.jp/>



▲ポスター(A2サイズ)

毎月第2土曜日に議会報告会を行なっています。

私、京都市議会議員の菅谷浩平は、毎月定例の議会報告会を下記の通り開催しております。是非ともお誘い合わせのうえ、お気軽にご参加ください。皆さまからのご意見・ご要望をお待ちしております。

〔日時〕 毎月第2土曜日夕方5時～6時 〔場所〕 菅谷浩平 京都市議会議員事務所

ポスター掲示ご協力をお願い (ポスター/A2サイズ タテ594mm×ヨコ420mm)
ご自宅などの外壁・窓ガラス・フェンスなど、ポスターの掲示を許可していただける場所を探しています。

著作権法上、本紙掲載の写真、図、文章及びデザインの無断転載、借用、複製は禁じられております。

1月議会&新税&政活費見直し



01 京都市1月議会

2022年の初議会 補正予算案を可決！

京都市1月特別議会が1月17日に開会し、申請件数が想定を大幅に上回った「京都市中小企業等再起支援補助金・応援金」への予算増額に11億9千9百万円と、住民税非課税世帯など(市内で約33万世帯)に現金10万円を配る国の臨時特別給付金の支給費に335億2千7百万円とを盛り込んだ総額347億2千6百万円の2021年度一般会計補正予算案が市議会に提出された。

市議会は同日に予算特別委員会を開いて補正予算案を審議したのち、1月20日の本会議にて同予算案を全会一致で可決して閉会した。

つぎの2月議会は、2月17日に開会する予定。

02 新税「非居住住宅利活用促進税(仮称)」

市内約1万3千戸の別荘や空き家などに対し課税 4年後の導入を目指し2月議会に市が条例案提出

京都市は、市内の別荘や空き家など居住実態のない住宅の所有者に対し、新税の導入を検討している。市は1月11日、新税となる「非居住住宅利活用促進税(仮称)」の骨子案を発表した。

課税対象は市内約1万3千戸の別荘や空き家などで、住民票の有無にかかわらず居住実態によって判断されるといふ。賃貸物件や売却予定物件、事業での使用のほか、市条例で保全対象となっている京町家などは課税免除となる。また、新税の導入開始から5年間、固定資産評価額が1百万円未満の建物も課税対象から外す。

新税の導入時期について、市は4年後の2026年度以降を目指しており、2月議会に条例案を提

出する予定だ。

市は新税で年間約8億6千万円の税収を見込むが、システム開発費用に最低でも約4億円が必要なほか、居住実態がないことを確定するための調査などに毎年約2億円程度の運用コストがかかるとしている。

門川京都市長は、新税が空き家発生の抑制や若者・子育て世代の定住に繋がるとしている。



▲昨年4月、新税の創設について答申を受ける門川京都市長

03 政務活動費

議員と同一生計者への 人件費の支出を見直す

京都市議会は1月28日、配偶者など議員と生計が同じ人の人件費に政務活動費を充てることについて、労働実態のない元事務所職員などの夫に給与を不正支出していたなどの疑惑が報じられている問題を受け、2022年度以降は認めない方針を決めた。

政令指定都市の議会のなかで、議員と生計が同じ人の人件費に政務活動費の支出を認めているのは、これまで京都市議会と名古屋市の議会のみだった。

また、2021年度の収支報告書の提出分からは、職員の勤務状況を記録した日報に被雇用者の署名を求めるほか、職員の雇用契約書など労働条件がわかる書類の提出も義務づけることとした。

経営難の市バス・地下鉄は運賃値上げ？ 烏丸線は新型車両が今春デビューへ

伝統工芸・素材などを散りばめて京都らしさを表現 外部監査「市民に誤解や不信感を与えかねない」

市交通局は1月6日、学識者らでつくる市バス・地下鉄事業経営ビジョン検討委員会から、市バス・地下鉄両事業ともに「10%程度の値上げが必要」とする答申を正式に受けた。これにより、市バスは20円、地下鉄は30円の値上げが見込まれることとなった。

値上げの可能性がある市営地下鉄だが、烏丸線では3月下旬から新型車両6両(1編成)による運行が開始となる。1981年(昭和56年)開業の烏丸線は、全車両120両(120編成)のうち、約40年間使用している54両(19編成)を2025年度までに新型車両に更新する計画だ。

新型車両の車体側面には金属工芸の技法をあしらった交通局章(販売価格11万1千円)のほか、



▲烏丸線の新型車両「20系」と伝統工芸による装飾の一部

京都市議会議員・北区 菅谷 浩平 (35)

すがやこうへい



所属政党／日本維新の会
党の役職／京都府総支部幹事長代理
地域活動／消防団・少年補導・子ども見守り隊ほか

1986年に京都府京丹後市網野町で生まれる。京都府立網野高校、明治大学法学部を卒業後、大和証券株式会社で営業マンとして働く。2015年に28歳で京都市議選に北区から立候補し初当選。公約に掲げた議員報酬30%カットは自主的に実行中。

編集後記 Editor's note

初当選以来、わたしは親族に対して政務活動費を1円も支出したことがない。市民から見たときに、税金である政務活動費を身内に還流していると言われないためだ。京都市議会も政務活動費による同一生計者への人件費の支出をようやく認めなくなったが、生計が同じでない親族への支出は依然として認められたままだ。新潟市議会・浜松市議会・熊本市議会のように、3親等以内の親族に対しては人件費の支出を一切認めていない事例もある。また、わたしの故郷の京丹後市議会のように、全国に先駆けて政務活動費の完全後払い制を導入した事例もある。京都市議会も同様の見直しをすべきだろう。

菅谷浩平 京都市議会議員事務所

〒603-8232 京都市北区紫野東野町20-1
Tel 075-493-6564
Email sugayakohei0919@yahoo.co.jp



www.sugayakohei.com



@sugayakohei



facebook.com/sugayakohei



@sugayakohei